

# CAPITA

## 株式会社CAPITA 2026年3月期

### 概要と分析

(2026年第3四半期より連結決算となります。)



東証スタンダード：7462



# 主要財務指標の 推移と分析

# 2026年3月期 連結決算実績

株式会社CAPITAは、資本コストを強く意識した成長戦略に基づき事業ポートフォリオの再構築を行ったことにより、  
※2026年3月期第3四半期より連結決算となります。

低採算であった自転車専門店事業の売却、不動産事業部における資産ポートフォリオの組み換えのほか、バイオ・サイト・キャピタル株式会社をグループ化いたしました。

2026年3月期連結の業績は以下の通りとなりました。

- ・売上：21億7百万円（連結決算）
- ・営業利益：△30百万円（連結決算）
- ・経常利益：△49百万円（連結決算）

単独決算では当期純利益が188百万円となりましたが、連結決算ではM&A費用55百万円の計上を行ったため増益幅が減少しました。また販売用不動産は厳格な基準に基づき33百万円の評価損を行っています。

	単体決算(参考)	連結決算		
	2025年03月期	2026年03月期	増減額	増減率
売上高	3,369,499	2,107,195	-1,262,304	-37.46%
売上原価	2,460,051	1,471,386	-988,665	-40.19%
販売費及び 一般管理費	829,999	665,949	-164,050	-19.77%
営業利益	79,449	△30,140	-109,589	-137.94%
営業外収益	5,659	9,170	3,511	62.04%
営業外費用	15,398	29,010	13,612	88.40%
経常利益	69,709	△49,980	-119,689	-171.70%
特別利益		231,908	231,908	—
特別損失	52,113	4,203	-47,910	-91.93%
税引前利益	17,596	177,724	160,128	910.03%
当期純利益	30,110	136,952	106,842	354.84%

単位：千円

# 売上高の動向

売上高の変動分析・資本コストを意識した利益重視の構造転換へ向けて

(2026年第3四半期より連結決算となり、前期決算比は参考値となります。)

**石油事業部の減収 (売上高1737百万円・前年同期比15.8%減)**

販売数量の確保と適正マージンの維持による利益重視の体制へシフトするため、店舗網を最適化(2店舗閉鎖)し、販売体制の再構築を行いました。

**不動産事業部の減収 (売上高265百万円・前年同期比61.0%減)**

不動産事業部におきましては、前期にあった販売用不動産の売却が今期は発生しなかったことが減収の主な要因です。現在は、収益性の高い資産の取得と既存資産の収益化に注力しております。

**専門店事業部の減収 (売上高88百万円・前年同期比85.7%減)**

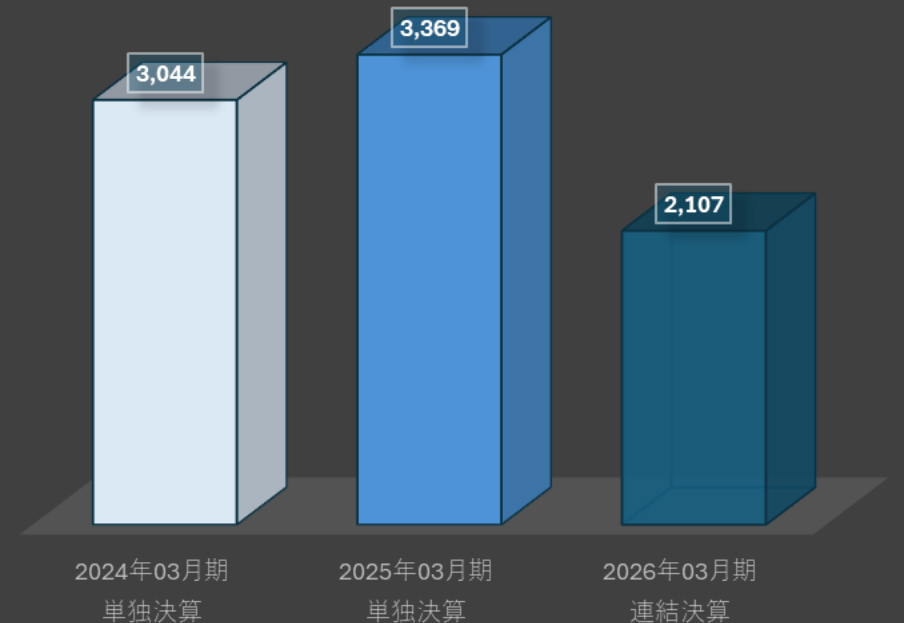
専門店事業部におきましては、資本コストを意識した経営戦略を遂行したことにより2025年7月1日に事業譲渡を行いました。

**ファンド事業部 (売上高15百万円・今期より新規事業)**

2025年11月、バイオ・サイト・キャピタル株式会社を子会社化し、ファンド事業へ参入いたしました。成長企業への投資とハンズオン支援を通じて、グループ全体の持続的な成長を目指します。

## 通期決算3年間比較

■ 2024年03月期 単独決算 ■ 2025年03月期 単独決算 ■ 2026年03月期 連結決算



# 営業利益の動向

## 利益の変動分析

(2026年第3四半期より連結決算となり、前期決算比は参考値となります。)

2026年3月期は資本を意識した経営へ転換し、事業整理と成長分野への投資、固定費削減を断行しました。施策に伴い営業損失を計上したものの、外部環境に左右されない強固な収益基盤を構築し、持続的成長に向けた体制を整えました。

### 石油事業部の損益（営業利益101百万円・前年同期9.1%増）

店舗網の最適化による2店舗の閉鎖と、収益性の高い商品・サービスの導入により、増益を達成いたしました。

### 不動産事業部の損益（営業利益127百万円・前年同期比7.1%減）

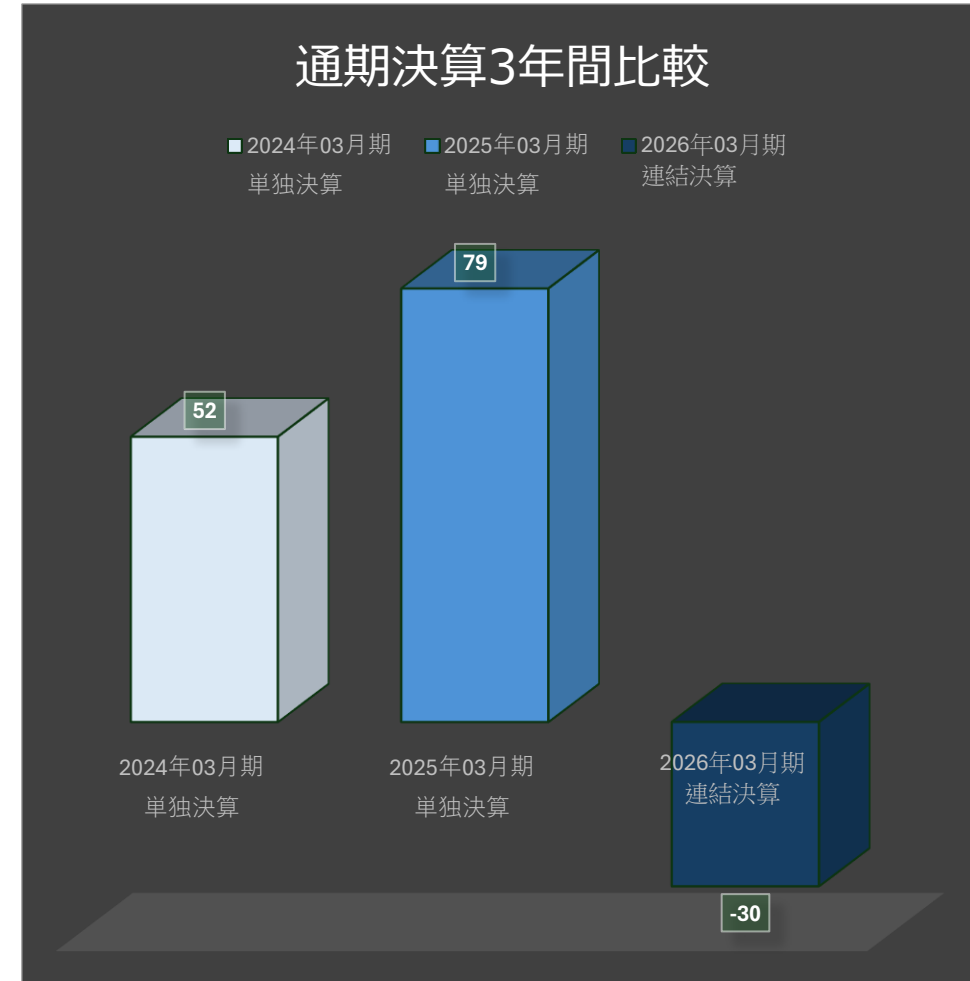
不動産事業部におきましては、第3四半期においては販売用不動産の売却益はありませんが、引き続き賃貸収入は高い稼働率に支えられています。

### 専門店事業部の損益（営業損失15百万円・前年同期営業損失24百万円）

専門店事業は2025年7月1日に営業譲渡いたしました。

### ファンド事業部（営業利益0.9百万円・今期より新規事業）

子会社化したバイオ・サイト・キャピタル株式会社による投資及び投資先支援を行っています。



資本コストを意識した経営  
への変革

# 資本コストを意識した経営への変革

## 不採算事業の見直し

ROA10%以上を目標に構造改革や事業の見直しを行います。

## 新たなビジネスへのチャレンジ

経営統合を含むM&A戦略を積極的に行います。

## 株主還元強化

株主重視への累進配当の導入、株主優待策、IRの強化



# 資本コストを意識した経営への行動

日付	内容	カテゴリー
5/14	2025年03月期配当を6円へ増配	
5/23	専門店事業部の事業譲渡（自転車事業からの撤退）	専門店事業
6/6	株主優待制度の導入（CAPITAプレミアム優待倶楽部）	
6/23	固定資産の譲渡（茨城県神栖市）により特別利益を計上予定	
6/26	IR準備室の設立	
6/27	入間大井SS閉店	石油事業
7/1	宮田浩二氏（現池田泉州銀行顧問）顧問就任	
7/15	固定資産の譲渡（東京都文京区・埼玉県川口市）により特別利益を計上予定	不動産
7/25	固定資産の取得（神奈川県横浜市）	不動産
7/31	M&A戦略室設置	投資事業
8/13	配当予想の修正（中間配当の実施）	
8/26	代表取締役異動のお知らせ（代表取締役就任予定者 現宮田浩二顧問） 臨時株主総会後の取締役会にて承認されることが条件となります。	
8/28	固定資産の取得（東京都板橋区）	不動産
8/29	湯島SS閉店	石油事業
9/9	固定資産の取得（東京都板橋区）	不動産
9/10	2026年3月期業績予想の修正と配当予想の修正（増配）	
9/19	資金の借り入れ	
9/26	固定資産の取得（神奈川県横浜市）	不動産
9/30	バイオ・サイト・キャピタル株式会社の子会社化	投資事業



# 資本コストを意識した経営への行動

日付	内容	カテゴリー
11/13	CAPITA大阪本部設置準備室の設置	
11/13	配当予想の修正（増配）	
11/13	2026年3月期業績予想の修正（当期純利益増益）	
12/19	固定資産の取得（大阪府八尾市）	不動産
12/19	連結子会社による固定資産の取得（大阪府大阪市）	不動産
12/24	当座貸越契約の設定（10億円）	
12/25	上場維持基準への適合	
12/25	記念株主優待の実施に関するお知らせ	
1/22	大阪本部設置	
1/22	M&A戦略室設置	投資事業
1/22	IR戦略室設置	
1/22	代表取締役異動 代表取締役CEO 宮田浩二	
2/13	配当方針の変更（累進配当の導入）	
2/13	株式会社アイ・ブレインサイエンスへの出資	投資事業
2/13	株式会社アイ・ブレインサイエンス「MIRUDAKE」の販売代理店契約締結	



## 免責事項

本資料は、当社の事業、財務、業績に関する情報を提供することを目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。投資判断は必ずご自身の責任において行ってください。

本資料に記載されている将来の見通し（事業計画、戦略、業績予想など）は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づき、当社が合理的であると判断した一定の前提および仮定のもとに作成されたものです。

しかし、これらの前提および仮定には不確実性や潜在的なリスクが含まれており、実際の事業活動の結果は、様々な要因により、これらの見通しと大きく異なる可能性があります。当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料の見通しを更新する義務を負うものではありません。

本資料の作成にあたっては、細心の注意を払っておりますが、その正確性および完全性を保証するものではありません。本資料のご利用によって生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。

お問い合わせ先：株式会社CAPITA IR準備室 電話：03-6277-5015 / メール：info@capita-inc.jp